

先取されたものの、面を二本取り返し一勝。次鋒清水美紀子選手も、面を先取し、幸先良く二連勝。続く、十五将花木真人選手は、面を二本・十四将今藤憲大選手も小手を二本決め、勝ちを収め、四連勝。十三将は、引き分け。東軍は、十二将野中聖司選手が、面二本を決め、連敗を食い止めたかたちとなりました。

続く、十一将は、引き分け。十将の東軍澤田憲孝選手が、面二本を決め、二勝とし、流れを東軍に引き寄せようとするものの西軍は、中堅石樽和巳選手から七将神谷憲一選手まで連勝し、ここまで、西軍は七勝二敗二引き分け。続く、六将都竹直孝選手が、面と胴を決め、この時点で西軍の勝ちが決まるという結果になりました。

終わってみれば、西軍の十勝三敗四引き分けという内容でした。東軍・西軍とも、持ち前の技を出し、手に汗握る好試合が展開されました。

閉会式では、東西対抗及び六地区大会団体戦の表彰の後、六地区対抗の全勝選手として、岐阜地区の鈴木晃司選手・西濃地区の松井直也選手・東濃地区の竹村奈緒美選手・市来真林選手が表彰されました。また、東西対抗優秀選手として、西軍からは花木真人選手、神谷憲一選手が、東軍からは、今井雅人選手が表彰されました。

閉会式では、堤俊彦会長から、東西対抗大会・六地区対抗大会とも、激しい試合もあり、また、見応えのある試合を見せてもらい感動しました。今後もさらに活躍されることを期待します。とお褒めの言葉と選手の今後の活躍への激励のあいさつがありました。

本大会担当の岐阜地区といたしました皆様の御協力により、無事終了できましたこと、感謝申し上げます。

六地区対抗決勝戦の結果

先鋒	川島 悠正	＊	小田 貴也
次鋒	熊田原 昌	―	市来 真林
五将	中西 港ド	―	吉田 貫司
中堅	高橋 香織	―	メコ 竹村奈緒美
三将	政綱 諒治	メ	山本夢佐士
副将	足立 佳恵	＊	高石 靖子
大将	鈴木 晃司	メ	則武 将文

東西対抗戦の結果

監督	加藤 尚喜	瀧戸 八起		
先鋒	佐合 季美	メ	吉田 沙紀	
次鋒	後藤 弓江	―	清水美紀子	
15将	荒垣 雅行	―	メ	花木 真人
14将	真野 純次	―	メ	今藤 憲大
13将	平野 千尋	＊	木幡 太	
12将	野中 聖司	メ	高橋 雅和	
11将	菊池 保文	メ	杉江 正直	
10将	澤田 憲孝	メ	熊崎 浩二	
中堅	二村 匠	＊	メ	石樽 和巳
8将	金子 政則	ド	メ	杉山 豊和
7将	吉野 雅人	―	メ	神谷 憲一
6将	今井 昭弘	―	メ	都竹 直孝
5将	中島 浩平	―	メ	小池 徳久
4将	今井 雅人	メ	メ	島戸 和行
3将	奥山 万治	―	メ	松本 幸隆
副将	岩崎 正美	＊	青木 宏達	
大将	小林 良三	＊	メ	長縄 和夫



東西対抗優勝の西軍



六地区対抗優勝の岐阜地区

第14回 県民スポーツ大会

八百津町で開催

大型で非常に強い台風14号の接近で開催が危ぶまれましたが、九月十八日(日)第十四回県民スポーツ大会剣道競技が、八百津中学校体育館で開催されました。

今年度は、男子二十八チーム、女子十八チームが出場する大会となり、コロナ禍で、暫定的な試合審判法が適用されるなかではありましたが、鏝競り合いから、積極的に分かれる試合運びで、一回戦から熱い戦いが繰り広げられました。

男子の決勝戦は、大垣市と岐阜市の対戦となり、大将戦で決着となる手に汗握る試合となり、岐阜市が優勝、女子の決勝戦は、美濃加茂市と岐阜市の対戦となり、美濃加茂市が優勝しました。大会結果は、次のとおりです。

○総合成績

- | | | | |
|-----|-----|-----|------|
| 第一位 | 岐阜市 | 第二位 | 大垣市 |
| 第三位 | 郡上市 | 第四位 | 不破郡 |
| 第五位 | 加茂郡 | 第六位 | 多治見市 |
| 第七位 | 養老郡 | 第八位 | 揖斐郡 |

○男子の部

- | | | |
|-------|------|------|
| ①岐阜市 | ②大垣市 | ③加茂郡 |
| ④不破郡 | ⑤養老郡 | ⑥揖斐郡 |
| ⑦多治見市 | ⑧郡上市 | |

○女子の部

- | | | |
|--------|------|-------|
| ①美濃加茂市 | ②岐阜市 | ③郡上市 |
| ④各務原市 | ⑤大垣市 | ⑥多治見市 |
| ⑦高山市 | ⑧揖斐郡 | |